

第1章 環境・アメニティの分野									
第1節 環境にやさしい循環型社会の形成と環境保全									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
環境優先のまちづくりの推進	環境経済局 環境総務課	環境経済局 環境対策課	交通環境プランと水環境プランに基づき、市民・事業者・市が協働して、交通公害対策や雨水利用の推進などの対策を進め、環境優先のまちづくりを推進します。また、(仮)自然環境保全計画を策定し、協働による自然環境の保全・創造を推進します。	推進	(仮)自然環境 保全計画策定 (19年度) 推進	雨水利用及び貯留・浸透に係る施策を盛り込んだ「さいたま市水環境プラン」を平成18年3月に策定しました。また、(仮)自然環境保全計画策定に向けた、調査並びに方向性の検討を行いました。		雨水利用及び貯留・ 31 浸透を積極的に推進 します。	
環境保全政策推進 事業	環境経済局 環境総務課 環境対策課	市民局 区政課	市民生活に関わる公害問題などの解決のため、(仮)生活環境保全条例を制定し、市独自の規制をするなど対策を進めます。また、環境に配慮した活動を市が率先して行うため、全区役所で環境に関する国際標準規格ISO14001の認証取得を推進します。	条例案検討 ISO14001認証取得 区役所数 0区役所 推進	(仮)生活環境 保全条例制定 (19年度) 10区役所 推進	条例制定に向けた部内検討会議及びワーキンググループを設置し、条文案策定のための情報収集及び整理を行いました。また、平成18年度に緑区役所においてISO14001を取得するための計画を作成しました。さらに、各区役所における平成19年度以降の認証取得計画を作成しました。		環境配慮への取り組みとして、平成18年度 25 に緑区役所においてISO14001の認証取得 を行います。 環境配慮への取り組みとして、各区役所へ 32 のISO14001の取得を 拡大していきます。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。).

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画
~マニフェスト工程表~の内容です。

第1章 環境・アメニティの分野									
第1節 環境にやさしい循環型社会の形成と環境保全									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
地球温暖化防止推進事業	環境経済局 環境総務課		地球温暖化対策地域協議会を設置し、市民・事業者・市のパートナーシップにより、省エネルギーや新エネルギーの導入推進、自動車対策の推進を柱とした地球温暖化防止に取り組みます。また、市の施設において省エネルギー効果の見込めるESCO事業の導入を推進します。	推進	地球温暖化対策地域協議会の設置(18年度) ESCO事業実施(19年度～) 推進	さいたま市地球温暖化対策地域推進計画を策定し、その中で地域協議会の運営に関するイメージを検討し、計画に位置づけました。また、新エネルギー導入普及啓発促進のためのパンフレットの作成及びESCO事業の導入可能性調査を実施しました。		33 新エネルギーとして住宅用太陽光発電システム等の設置を奨励します。また、市の施設において省エネルギー効果の見込めるESCO事業の導入を計るため、事前の実現可能性調査を実施します。 35 市や市民・事業者において環境に配慮した物品等への需要の転換を促すことにより、循環型社会の実現を目指します。また、新エネルギーの普及促進により、市民の環境保全意識の高揚を図り、環境共存社会を作り上げます。	
ごみ減量・リサイクル推進事業	環境経済局 廃棄物政策課	環境経済局 環境総務課	市報やホームページなどによる啓発活動を通じて、ごみの排出抑制・分別の徹底を図るとともに、排出抑制に向けて、ごみの有料化やリサイクルのあり方を検討します。また、市がグリーン購入を積極的に推進することにより、環境に配慮した物品等への需要の転換を促します。	市民1人1日あたりのごみ排出量 901g グリーン購入基本方針策定作業	860g グリーン購入調達実績 100%	ごみ減量化の更なる推進に向けた一般廃棄物処理基本計画の見直しで、ごみの削減目標を平成22年度までに、1人1日当たりのごみ排出量を901gから840gへ減らします。平成17年度の市民1人1日あたりのごみ排出量は910gです。前年度よりも排出量が若干増えましたが、平成14年度から54gの減量となっており、概ね順調に推移しています。また、さいたま市グリーン購入推進基本方針及び関係資料を作成し、平成18年4月1日から運用を開始しました。		24 市報やホームページなどによる啓発活動を通じて、ごみの排出抑制・分別の徹底を図ります。 34 現在見直している一般廃棄物処理基本計画において、新たな削減目標を設定し、その実現に向け、現行施策を継続・推進するとともに、新たな手法の検討を行います。 35 市や市民・事業者において環境に配慮した物品等への需要の転換を促すことにより、循環型社会の実現を目指します。また、新エネルギーの普及促進により、市民の環境保全意識の高揚を図り、環境共存社会を作り上げます。	

「進捗状況」欄について
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第1章 環境・アメニティの分野									
第1節 環境にやさしい循環型社会の形成と環境保全									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
廃棄物減量等推進 員事業	環境経済局 廃棄物政策 課		ごみの分別の徹底やごみ減量の啓発、 環境美化等について、市民と市との間の パイプ役を担うクリーンさいたま推進員を 市民に委嘱し、ごみの分別・減量化を推 進します。	クリーンさいたま 推進員数 1600名	推進	1,637名の市民にクリーンさいたま推進員を 委嘱しました。また、推進員に対してさいたま 市のごみ処理等に関する内容についてのアン ケートを行い、今後の進むべき方向性につい て検討しました。		-	
廃棄物処理施設の 整備	環境経済局 環境施設課		市民のリサイクル活動の拠点機能を備え たリサイクルセンター及び高効率で熱回 収し発電等を行う廃棄物処理施設を整 備します。	検討	事業中	リサイクルセンターの整備に向けて、一般廃 棄物処理基本計画に位置づけるとともに、循 環型社会形成推進地域計画策定の中で施設 規模などを具体的にしました。		35 市民のリサイクル活 動の拠点機能を備え たリサイクルセンター を整備します。	
低公害車普及促進 対策事業	環境経済局 環境対策課		天然ガス自動車などの低公害車の導入 を進めます。その普及促進を図るためグ リーン配送などを推進するほか、ディー ゼル自動車の粒子状物質減少装置の経 費の一部を補助します。また、市公用車 の低公害車導入を進めます。	さいたま市内自動 車登録台数の 0.4% 公用車保有台数 の 3.4%	4%以上 15%以上	事業者、関係団体と市から構成される「天然 ガス自動車普及促進協議会」を2回開催し、課 題を抽出するとともに、普及促進のための方 策や基盤整備について検討しました。 グリーン配送の事業者アンケート(約2千社対 象)を実施しました。 さいたま市内自動車登録台数の0.5% 公用車保有台数の4.5%		35 低公害車の導入促進 を図ります。また、市 の公用車に低公害車 を率先導入します。	
ダイオキシン類対 策の推進	環境経済局 環境対策課		市内におけるダイオキシン類の環境濃度 (大気質・水質・土壌・底質・地下水)を計 画的に調査測定し、発生源への規制や 指導を進めます。	環境基準適合率 水質 70% 大気質、土壌、底 質、 地下水 100%	水質、大気質、 土壌、底質、地 下水 100%	環境濃度調査を実施し、環境基準適合率10 0%を達成しました。今後も計画的に調査測 定していきます。 水質:7地点、年2~3回 大気質:10地点、年4回 土壌:5地点、年1回 底質:6地点、年1回 地下水:1地点、年1回		-	
環境教育・学習の 推進 (再掲3章1節)	環境経済局 環境総務課	教育委員会 指導1課	環境への意識を高めるため、リサイクル 活動や学校緑化コンクールへの参加、学 校ビオトープの管理・活用などを充実しま す。また、環境教育・学習を推進してい くための総合的方針・計画を策定し、個人 が自発的に環境保全に取り組む活動を 支援します。	リサイクル活動実 施校62% 環境美化活動実 施校63% 総合的方針・計画 の検討	90% 90% 策定 (19年度) 推進	リサイクル活動は116校、環境美化活動は105 校で実施し、学校環境緑化コンクールへは31 校が参加、学校ビオトープについては、市立1 3小・中学校で活用中です。 リサイクル活動実施校74.4% 環境美化活動実施校67.3% 学校における環境教育基本計画を作成し、市 立幼・小・中・高・養護学校に配布し活用を推 進しました。また、小学校中学年用環境教育 指導資料を改訂しました。 「省エネルギー・省資源」をテーマに、市立の 中学2年から標語作品を、小学5年からポスター 作品を募集し、コンクールを行いました。優秀作品 については、入賞作品集やカレンダーの作成 などにより環境保全への啓発に活用しまし た。		-	

「進捗状況」欄について
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び
理想都市実現に向けた行動計画
~マニフェスト工程表~の内容です。

平成 17 年度実施状況一覧表

第1章 環境・アメニティの分野									
第2節 水と緑の空間の保全、再生と創出									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
自然緑地の保全・整備事業	都市局 公園みどり課		市民の快適な生活環境を確保するため、みどりの条例に基づき、市内に残る貴重な緑地を自然緑地や保存緑地などに指定し、平成32年度までに120haの緑の確保を目指します。	指定面積率 53%	指定面積率 62%	指定緑地自然再生工事を5箇所行いました。指定緑地等公有地取得とし、岩槻区赤間堀ふるさとの森1,295㎡取得しました。保存緑地2箇所13,476㎡、自然緑地1箇所4,425㎡を指定しました。なお、地権者との合意形成に時間を要したことなどから、平成17年度末の指定面積率は、54%で、前年度と比較し1ポイント増にとどまりました。		-	計画目標については、自然緑地、保存緑地と環境緑地を合わせた指定面積を、平成20年度末の計画目標である62%まで拡充します。
クマガイソウの里緑地の保全・整備	都市局 公園みどり課		本市の天然記念物であるクマガイソウ自生地周辺の緑地の保全や整備を進めます。	検討	推進	クマガイソウ自生地周辺の現況及び将来の状況を把握、分析するため、御蔵地区(クマガイソウの里)基本構想を策定しました。		-	
高沼用水路整備事業(再掲6章1節)	建設局 河川課		高沼用水路(導水路・東縁・西縁)の水路や護岸などの水辺環境整備を行い、市民と連携しながら、その憩いの場となる親水性の高い水辺空間づくりを進め、水と緑のネットワークの形成を図ります。	検討	事業中	治水を踏まえた整備の基本構想の検討を行いました。平成16年度の住民参加会議での提案を具現化するため、提案の整理と治水機能との整合に時間を要しています。		-	
加田屋地区自然環境公園整備事業	都市局 公園みどり課		見沼田圃の原風景を色濃く残す加田屋地区の特性を生かした、自然公園や市民農園、ふれあい広場などからなる総合公園を整備します。	検討	推進	農業関係法令等との適合性・整合性の課題の検討を行いました。解決に時間を要しています。		-	
高沼遊歩道整備事業	都市局 公園みどり課		さいたま新都心から中山道や氷川参道、見沼田圃を結ぶ緑のネットワークとして遊歩道を整備します。	事業中	推進	施設整備工事2500㎡を施工しました。また、東西連絡道路から産業道路間の整備について、地元住民の意向を踏まえて当初の遊歩道整備計画を見直すこととなり、当該箇所の基本計画策定を行いました。		-	

「進捗状況」欄について
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
 は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第1章 環境・アメニティの分野									
第2節 水と緑の空間の保全、再生と創出									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
見沼グリーンプロジェクトの推進	政策局 企画調整課		環境資産としての見沼田圃の広域的な保全・活用・創造を推進するため、農地や斜面林、水辺の一体的保全・再生・創出による水と緑のネットワークの形成を図ります。	推進	推進	見沼田圃は、市民にかけがえのない環境資産であることから、より多くの市民に関心を持っていただくため、“わたしの散歩みち”をテーマとして、ワークショップを開催し、意見を取りまとめました。		27 見沼グリーンプロジェクトを推進します。	
(仮)セントラルパーク整備事業	都市局 公園みどり課		見沼田圃の全体的な保全・活用・創造を先導するとともに、市民のオアシスとなる緑の拠点を形成するため、(仮)セントラルパークの整備を進めます。	事業中	一部完成(19年度) 事業中	主に公園南側の池及びその周辺の工事を行いました。前年度からの用地取得の遅れにより工事にも遅れが生じました。		21 (仮)セントラルパークを整備し、平成18年度に一部完成します。	
七里総合公園整備事業	都市局 公園みどり課		湿生植物園やせせらぎ水路などからなる特色ある総合公園を整備します。	事業中	多目的広場・修景池整備 (19年度) 事業中	軟弱地盤により工事に遅れが生じています。平成17年度は、加田屋川兩岸の公園を連絡する橋を架設し、その施工後に周辺地盤の安定を図りました。		21 七里総合公園の広場及び修景池を平成19年度までに整備します。	
緑の核づくり公園整備事業(再掲4章3節)	都市局 公園みどり課		公園整備プログラムを策定し、都市の緑の核となる公園や、地域の緑の核となる公園の適正な配置・整備を進めます。	市民一人あたりの 都市公園面積 4.95㎡/人	6.30㎡/人	面積6.28ha、16箇所(拡張含む。)の公園を開設しました。 市民一人あたりの都市公園面積 4.96㎡/人		26 政令指定都市で一人当たり公園面積第1位を目指します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第1章 環境・アメニティの分野								
第3節 美しい都市空間の形成								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
都市景観形成推進事業	都市局 都市計画課	良好な景観形成のため、大規模建築物などの誘導を行うとともに、景観形成に寄与している優れた建築物や活動などに対して表彰を行います。また、都市景観形成基本計画を策定及び、借景として活用する優れた景観資源を調査します。	推進	都市景観形成基本計画策定 (19年度) 推進	良好な景観形成のため大規模建築物等の建築等69件と重点地区内における建築行為等6件の届出に対し景観誘導を行なうとともに、景観形成に寄与している優れた建築物や活動など17件を表彰しました。 また、都市景観形成基本計画の策定に着手し、借景については概念の明確化を行いました。		20 「借景」の現状調査を実施します。	
道路美装化推進事業(再掲4章2節)	建設局 道路環境課	都市景観の向上や歩行空間のバリアフリー化、防災対策、良好な住環境の形成、歴史的な街並み保全などの観点から、電線類の地中化をはじめとした道路美装化を推進します。	電線類地中化整備延長 17.64km	21.81km 道路美装化推進基本方針策定 (18年度)	県道鴻巣桶川さいたま線の整備工事L=350mを実施しました。また、県道さいたま幸手線の詳細設計を行いました。 電線類地中化整備延長 17.99km 「道路美装化推進基本方針」を検討するに当たり、検討体制や検討内容、期待する成果などについて、あらかじめ関連部局と意思統一を図るため、庁内会議を3回開催しました。		7 「道路美装化推進基本方針」を策定します。 18 道路美装化計画を策定し、道路美装化を推進します。 70 電線類地中化事業を推進します。	計画の進捗に伴い、平成20年度末の計画目標「電線類地中化整備延長」を22.06kmに上方修正しました。今後は、この数値を目標に事業を進めていきます。
屋外広告物適正化推進事業	都市局 都市計画課	屋外広告物の許可、違反広告物の除却・是正指導により、良好な景観形成、風致の維持及び公衆に対する危害防止を推進します。また、市民ボランティアによる違反広告物撤去を実施します。	ボランティア除却員 0人	400人	屋外広告物の表示等の許可(9,203件)、違反広告物の簡易除却(85,388件)及び是正指導(277件)、屋外広告業届出の受理(65件)、屋外広告物講習会(修了者数116名)などを実施しました。関係機関とともに屋外広告物適正化のためのキャンペーンを実施しました。 また、平成17年度における試行的ボランティア除却員数は50名で、平成18年2月から3月にかけて講習会を4回実施し、ボランティア撤去員として身分証を交付し、撤去活動を2回実施しました。また、平成18年度の実施に向けて、「さいたま市違反広告物ボランティア撤去制度設置要綱」を策定しました。		19 市民ボランティア組織との協働により、屋外広告物の撤去活動を行います。	
環境美化推進事業	環境経済局 廃棄物政策課	快適な都市環境を確保し、清潔できれいなまちづくりを推進するため、ボイ捨て等防止条例の周知や市民参加による清掃活動などを推進します。	市民清掃活動参加者数累計 82,206人	333,700人	17年度参加者は82,736人で、ごみゼロキャンペーンをはじめ荒川クリーン作戦などの清掃活動を実施しました。 市民清掃活動参加者数累計164,942人		-	

「進捗状況」欄について
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画
~マニフェスト工程表~の内容です。